

「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」この名は、「神は我々と共におられる」という意味である。(マタ 1:23)

この御言葉は、2020年のクリスマスに、私の心の中で、鐘がキ〜ン、コ〜ン、カ〜ン、コ〜ンと鳴るように、絶えず響いているのです。

今年は COVID-19 という治療法のまだない病原体に全世界が襲われてしまいました。目に見えないウイルスが自分の身の周りに存在し、他人と会話するだけで、ウイルスを取り込む可能性が増すというのです。医療関係者により、「密」を避ける予防法を求められました。また、東京都知事が“ウイズ コロナ”という言葉を発表し、病原体が身近にいることを意識して行動するようにと訴えたことも思い出されます。それゆえでしょうか、「目に見えないもの」、「人との触れあい」、「共に」という言葉が、いかに私たち人間の日常の関係性を表しているかが、分かります。ますます、イエス・キリストの降誕の意味を示す「インマヌエル」も意味深く感じられます。

聖書に登場する人々も「インマヌエル」によって生きてきたと記されています。

アブラハム その夜、主が現れて言われた。「わたしは、あなたの父アブラハムの神である。恐れてはならない。わたしはあなたと共にいる。わたしはあなたを祝福し、子孫を増やす／わが僕アブラハムのゆえに。」(創6:24)

ヤコブ 主はヤコブに言われた。「あなたは、あなたの故郷である先祖の土地に帰りなさい。わたしはあなたと共にいる。」(創31:3)

ヨセフ 主がヨセフと共におられたので、彼はうまく事を運んだ。彼はエジプト人の主人の家に行った。(創39:2)

モーセ 主は雲のうちにあつて降り、モーセと共にそこに立ち、主の御名を宣言された。(出34:5)

ヨシヤ わたしは、強く雄々しくあれと命じたではないか。うろたえてはならない。おののいてはならない。あなたがどこに行ってもあなたの神、主は共にいる。(ヨシ1:9)

サムエル サムエルは成長していった。主は彼と共におられ、その言葉は一つたりとも地に落ちることはなかった。(サム上3:19)

ダビデ 従者の一人が答えた。「わたしが会ったベツレヘムの人エッサイの息子は豎琴を巧みに奏でるうえに、勇敢な戦士で、戦術の心得もあり、しかも、言葉に分別があつて外見も良く、まさに主が共におられる人です。」(サム上16:18)

エリミヤ 彼らを恐れるな。わたしがあなたと共にいて／必ず救い出す」と主は言われた。(エレ1:8)

マリヤ 天使は、彼女のところに来て言った。「おめでとう、恵まれた方。主があなたと共におられる。」(ルカ2:28)

弟子たち 一方、弟子たちは出かけて行って、至るところで宣教した。主は彼らと共に働き、彼らの語る言葉が真実であることを、それに伴うしるしによってはっきりとお示しになった。(マルコ16:20)



使徒パウロは絶えず祝福の祈りと共に、書簡を諸教会に送っています。主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたがた一同と共にあるように。(二コリ13:13)

私は戦争や飢餓に苦しむ女、子どもを描いたドイツの画家ケート・コルヴィッツの「Grabrelief(大いなる救い)」の彫刻の中に、「インマヌエル」、「主が共にいてくださる」のイメージを実感させられます。苦しい時にこそ、「インマヌエル」の力を「密」に感じ、クリスマスを喜び、祝いたいと願っています。主の「大いなる救い」を心より祈っています。